

科目名				授業の種類		授業担当者	
造形表現B指導法				演習		小池 悟	
学科	学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	必修・選択	
保育科	2	1	30	15	後期	選択	
〔授業の目的・ねらい〕							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者として表現豊かに子どもたちに指導できるよう、表現活動の理解を深め、表現活動の援助に必要な知識や技能の研究をする。</li> <li>・子どもの生活や遊びの中での表現活動を学び、活動設定や援助方法を考え実践できるようにする。</li> </ul>							
〔授業全体の内容と概要〕							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・造形表現活動を行う上で必要な表現方法やその材料・道具などに関する基本的な知識を、「ものづくりの楽しさ」を体験しながら学び研究し、保育現場で活かされるよう実践的作品の制作を行う。また作品制作を通して子どもの造形表現活動の援助に必要な様々な要素を学ぶ。</li> <li>・いろいろな表現方法を用い、個人でまたはグループで発表方法を考え制作と発表をし、つくる楽しさ・苦しさを感じながら自己表現ができるようにする。</li> </ul>							
〔受講上の注意事項〕							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内容を振り返り復習し、理解を深める。</li> <li>・日頃から子どもの造形表現活動に関心を持つよう心掛け、制作作品は必ず完成させる。</li> <li>・はさみ、のり、定規などは各自用意し授業の都度持参する。その他忘れ物をしない。</li> </ul>							
〔使用テキスト〕				〔評価基準〕			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・その都度資料プリントを配布。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作した作品・課題の提出70%</li> <li>・授業への意欲・態度30%</li> </ul>			
〔授業の日程と各回のテーマ・授業内容〕							
回	項目			授業内容			
1	造形表現について			造形表現について、幼稚園教育要領・保育所保育指針から考える。			
2	いろいろな造形方法を知る			発達段階を考えながら身近にある材料を使って造形方法を考える。			
3	つくって遊ぼう①			身近にある材料を使って制作し、それらで遊ぶ。年齢ごとの関わり方を考え指導案を作成する。			
4	つくって遊ぼう②			身近にある材料を使って制作し、それらで遊ぶ。年齢ごとの関わり方を考え指導案を作成する。			
5	自己紹介をしてみよう			教育実習の自己紹介の方法を考え、発表する。			
6	いろいろな方法で表現しよう①			1年次に作成したパネルシアター・エプロンシアターの作品がもっと充実して表現できるようにする。			
7	いろいろな方法で表現しよう②			出来上がった作品を発表する。			
8	いろいろな方法で表現しよう③			グループに分かれて発表方法を考え制作・練習する。			
9	いろいろな方法で表現しよう④			グループに分かれて発表する。			
10	伝承遊びを楽しむ			昔から伝わる遊びを調べたり思い出したりしながらまとめる。			
11	共同制作を楽しもう①			どんな共同制作にするか皆んなで話し合いをし、制作の進め方を考えたり調べたりする。(材料・制作の仕方・方法など)			
12	共同制作を楽しもう②			共通のイメージを持ち制作する。			
13	共同制作を楽しもう③			共通のイメージを持ち制作する。			

14

共同制作を楽しもう④

共同制作の発表をする。

15 まとめ

本授業の総まとめをする。





